

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜生命科学部バイオサイエンス学科＞（認定課程：中一種免（理科）・高一種免（理科））

（１）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	化学と生物学を中心に、生命科学、分子生物学を学ぶための基礎を培うとともに、語学等を学び広い教養を養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	前期に引き続いて生命科学の基礎を培い、広い教養を養う。加えて、分子生物学など専門分野の基礎を学び理解を深める。さらに教育原理を学ぶことにより、教育の基礎理論を習得する。
2 年次	前期	生命科学に対して知識を深めるとともに、細分化された専門分野に関して学び、基盤を形成する。加えて、無機化学、有機化学実験実習により、実験の基本的な手法、原理を習得する。教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	前期に引き続き生命科学をより深く理解する。加えて、形成された基盤に基づき、生命科学について理論的に、また広い視野で考える能力を身に付ける。実験実習を通して生命科学に関する研究の実際を理解し、技術を習得する。理科教員として必要な基礎的な科学的知識を再確認する。
3 年次	前期	研究室に所属し、最新技術を用いた研究を開始する。そしてその技術を習得し、原理を理解する。理科教員として必要な指導法、学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	自らの研究テーマに関する情報の収集法を習得し、情報の効果的な活用法を理解する。実験を通して、論理的思考力を強化する。引き続き教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4 年次	前期	研究テーマについて実験・調査を進める。教育実習により、教育現場の実際をよく理解する。大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教師の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	卒業論文製作、発表を通してプレゼンテーション能力を身につける。大学教育を通して培ったことを再認識し、教職者としての意識、自覚を確立させる。